

METHOD AND EQUIPMENT FOR TRANSMITTING VIDEO SIGNAL

Patent Number: JP63180280
 Publication date: 1988-07-25
 Inventor(s): FURUHATA TAKASHI
 Applicant(s): HITACHI LTD
 Requested Patent: ☐ JP63180280
 Application Number: JP19870011399 19870122
 Priority Number(s):
 IPC Classification: H04N7/08 ; H04J1/00
 EC Classification:
 Equivalents: JP2528108B2

Abstract

PURPOSE: To transmit the video signals of two channels in the band for one channel by mutually frequency-multiplexing the video signals of a first channel and a second channel in the band for one channel.

CONSTITUTION: The video signals V1 and V2 of the first and the second channels are supplied to terminals 1 and 2 in a synchronized phase relation. The signal V2 is supplied to a switching circuit 20 and a phase inversion circuit 10, and a phase inverted output to the circuit 20. It is switched in the horizontal scanning line unit of the signal and the output is supplied to a synthesis circuit 30. The sum component of the signals V1 and V2 is outputted in the first signal block of the circuit 30, and the difference component of the signals V1 and V2 is outputted in a second signal block. The signals for two channels are frequency-multiplexed in the band for one channel. Thus, the signals for two channels can be transmitted in the band for one channel.

Data supplied from the esp@cenet database - 12

Best Available Copy

① 日本国特許庁 (JP)

② 特許出願公開

③ 公開特許公報 (A)

昭63-180280

④ Int. Cl.

H 04 N 7/03
H 04 J 1/00

⑤ 特許番号

庁内登録番号

⑥ 公開 昭和63年(1988)7月25日

Z-7060-SC
8226-5K

審査請求 未請求 発明の数 3 (全11頁)

⑦ 発明の名称 映像信号の伝送方法及びその装置

⑧ 特 願 昭62-11399

⑨ 出 願 昭62(1987)1月22日

⑩ 発 明 者 氏 名 種 別 神奈川県横浜市戸塚区吉田町292番地 株式会社日立製作所
所収研究室内

⑪ 出 願 人 株式会社日立製作所 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地

⑫ 代 理 人 弁理士 並木 昭夫

明 細 書

1. 発明の名称

映像信号の伝送方法及びその装置

2. 特許請求の範囲

1. 伝送すべき第1チャンネルの映像信号と第2チャンネルの映像信号とを、各々の第1の信号ブロックでは第1チャンネルの映像信号と第2チャンネルの映像信号との和に相当する位相関係で同位相多重し、前記第1の信号ブロック以外の第2の信号ブロックでは前記第1チャンネルの映像信号と第2チャンネルの映像信号との和に相当する位相関係で同位相多重して伝送するようにしたこととを特徴とする映像信号の伝送方法。

2. 特許請求の範囲第1項に記載の伝送方法において、前記第1チャンネルの映像信号における第1の信号ブロックと第2の信号ブロックとの位相関係、及び前記第2チャンネルの映像信号における第1の信号ブロックと第2の信号ブロックとの位相関係は、それぞれ、各々の映

像信号のフィールド内の時間的に隣接するライン同士か、あるいは隣接するフィールド間あるいはフレーム間の空間的に隣接するライン同士の関係に有ることを特徴とする映像信号の伝送方法。

3. 特許請求の範囲第1項に記載の伝送方法において、前記第1チャンネルの映像信号と第2チャンネルの映像信号は、共に、同位相信号と色度信号とを時分多重して成ることを特徴とする映像信号の伝送方法。

4. 特許請求の範囲第1項に記載の伝送方法において、前記第1チャンネルの映像信号は、互いに位相の異なる3つの立体映像信号に基づく3つの映像信号のうちの一方の映像信号から成り、前記第2チャンネルの映像信号は、他方の映像信号から成ることを特徴とする映像信号の伝送方法。

5. 第1チャンネルの映像信号及び第2チャンネルの映像信号を伝送するための伝送装置において、前記第1チャンネルの映像信号を入力

特開昭63-180280(2)

ようにしたことを特徴とする映像信号の伝送装置。

6. 特許請求の範囲第5項に記載の伝送装置において、第1の映像信号を入力し、各ライン毎に第1の映像信号の時間軸を M 倍に伸長し、その後、フィールド内の時間内に挿入するライン同士、あるいは隣接するフィールド間あるいはフレーム間の空間的に隣接するライン同士のうち、一方のラインに相当する映像信号を第1出力として出力し、他方のラインに相当する映像信号を第2出力として出力する時間軸変換手段を有し、第2出力からの信号を前記第1チャンネルの映像信号とすると共に、第2出力からの信号を前記第2チャンネルの映像信号とすることとしたことを特徴とする映像信号の伝送装置。

7. 特許請求の範囲第6項に記載の伝送装置において、互いに速度の異なる1つの立体映像情報に含む2つの映像信号のうち、一方を前記第1チャンネルの映像信号とし、他方を第2

し、前記第1チャンネルの映像信号における1つの色度信号のうちの少なくとも一方の色度信号と輝度信号とを時分割多重して出力する第1の時分割多重手段と、前記第1チャンネルの映像信号を入力し、前記第1チャンネルの映像信号における1つの色度信号のうちの少なくとも一方の色度信号と輝度信号とを時分割多重して出力する第2の時分割多重手段と、前記第1及び第2の時分割多重手段からの各出力信号を入力し、各々の信号におけるフィールド内の時間的に隣接するライン同士、あるいは隣接するフィールド間あるいはフレーム間の空間的に隣接するライン同士のうち、一方のラインにおいては、前記第1及び第2の時分割多重手段からの各出力信号の和に相当する位相関係でその両者を同位相多重し、もう一方のラインにおいては、前記第1及び第2の時分割多重手段からの各出力信号の差に相当する位相関係でその両者を同位相多重する同位相多重手段と、から成り、前記同位相多重手段によって多重された信号を伝送する

チャンネルの映像信号としたことを特徴とする映像信号の伝送装置。

8. 映像信号を伝送するための伝送装置において、該映像信号から、輝度信号の低域成分と高域成分、及び1つの色度信号のうちの少なくとも一方の色度信号の低域成分と高域成分とを分離し、前記輝度信号の低域成分と色度信号の低域成分とを時分割多重して出力する第1の信号変換手段と、分離された前記輝度信号の高域成分と色度信号の高域成分とを時分割多重し、その時分割多重された信号を逐次列に同位相変換して出力する第2の信号変換手段と、前記第1及び第2の信号変換手段からの各出力信号を入力し、各々の信号におけるフィールド内の時間的に隣接するライン同士、あるいは隣接するフィールド間あるいはフレーム間の空間的に隣接するライン同士のうち、一方のラインにおいては、前記第1及び第2の信号変換手段からの各出力信号の和に相当する位相関係でその両者を同位相多重し、もう一方のラインにおいては、

前記第1及び第2の信号変換手段からの各出力信号の差に相当する位相関係でその両者を同位相多重する同位相多重手段と、から成り、前記同位相多重手段によって多重された信号を伝送することとしたことを特徴とする映像信号の伝送装置。

2. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は、複数のチャンネルあるいは広帯域の映像信号を限られた伝送帯域で伝送するのに好適な映像信号の伝送方法とその装置に関するものである。

尚、ここでいう伝送とは広い意味での伝送であり、例えば、記録・再生も一層の伝送ということ、この伝送という言葉の如くように含まれる。但し、以下の文中において、場合によっては、伝送と記録・再生とを分けて考える場合もあり、その様な場合、伝送という言葉は送受信装置の伝送などの狭い意味で用いられる。

〔従来の技術〕

特開2003-180280(2)

近年では、現行のテレビ方式に比して倍音の高輝度、高画質の得られるいわゆる高品位テレビのような、新しい高画質テレビ方式の検討が進められており、この高画質テレビ方式では、現行のテレビ方式におけるよりも映像の画質性能を有し、異なって映像の広帯域を必要とする。また他方では、映像を3次元的に表示させる立体テレビ方式の検討も進められており、この立体テレビ方式では互いに図像の異なる2図像の映像信号を送送する必要がある。伝送路の信号伝送容量として1チャンネル分が必要となる。

以上のように、高画質テレビあるいは立体テレビなどの新しいテレビ方式では、広帯域あるいは複数チャンネルの伝送路が必要となるため、帯域あるいはチャンネル数の制限されている既存の伝送チャンネルで、こうした新しいテレビ方式のサービスを行うためには、広帯域あるいは複数のチャンネルの映像信号を1チャンネル分の限られた伝送帯域で伝送する必要がある。

また、こうした新しいテレビ方式で得られる映

像信号を、ビデオ・テープ・レコーダ(VTR)やビデオ・ディスク・プレーヤ(VDP)などで記録し再生する場合を考えて見ても、記録・再生すべき映像信号が広帯域あるいは複数チャンネルの信号であれば、通常の映像信号を記録・再生する場合に比べ記録帯域が大きくなってしまいが、1チャンネル分の限られた伝送帯域の信号となれば、伝送容量が大きくなることもない。

そこで、この限られた1チャンネル分の限られた伝送帯域で信号を送送する方法として、従来では、例えば、テレビジョン学会技術報告Vol.7, No.44(1984年1月)TBS595-2における二重、大塚、和泉による「高品位テレビの帯域1チャンネル伝送方式(MUSE)」と題する文献において論じられているものなどがある。

しかし、この文献等例では独立した1つのチャンネルの映像信号を約2つのチャンネルで伝送し、あるいは記録・再生する技術については開示されておらず、従って、こうした帯域の狭まりが重要な問題となっている。

(発明が解決しようとする課題)

上記した様に、従来技術では、広帯域あるいは複数チャンネルの映像信号を1チャンネル分の限られた伝送帯域で伝送させることが完全にできておらず、従って、高画質テレビあるいは立体テレビなどの新しいテレビ方式のサービスを行うことが困難であった。また、こうした新しいテレビ方式で得られる映像信号を、VTRやVDPなどで記録・再生する場合においても、記録・再生すべき映像信号が広帯域あるいは複数チャンネルの信号のままであれば、記録帯域が増大してしまっており、記録媒体の記録容量が限られている場合には、長時間に亘る録画再生が行えないという問題があった。

本発明は、上記した従来技術の問題点に鑑みながらなされたものであり、従って、本発明の目的は、広帯域あるいは複数のチャンネルの映像信号を1チャンネル分の帯域で伝送あるいは記録・再生できる映像信号の伝送方法およびその装置を提供することにある。

(問題点を解決するための手段)

本発明は、上記目的を達成するために、伝送すべき第1チャンネルの映像信号 V_1 と第2チャンネルの映像信号 V_2 とを、第1の符号ブロック(例えば偶数番目のラインで構成されるブロック)では、上記第1チャンネル映像信号 V_1 と第2チャンネル映像信号 V_2 との和($V_1 + V_2$)に相当する位相関係をもって互いに同位相多重して伝送し、上記第1の符号ブロック以外の第2の符号ブロック(例えば奇数番目のラインで構成されるブロック)では、上記第1チャンネル映像信号 V_1 と第2チャンネル映像信号 V_2 との差($V_1 - V_2$)に相当する位相関係をもって互いに同位相多重して伝送するようにしたものである。

(作用)

上記により、第1チャンネル映像信号 V_1 と第2チャンネル映像信号 V_2 とは、1チャンネル分の帯域内で互いに同位相多重されるため、1チャンネルの映像信号(V_1 と V_2)を1チャンネル分の帯域で伝送することが可能である。

また、上記のようにして同位相多重された映像

特開昭63-180280(4)

信号のうち、上記第1の信号ブロックに相当する
 映像信号 $(V_1 + V_2)$ と、上記第2の信号プロ
 ックに相当する映像信号 $(V_1 - V_2)$ と、で和
 成分をすれば、上記第1チャンネルの映像信号
 V_1 が分離抽出され、また、その同相で差分演算
 をすれば、上記第2チャンネル映像信号 V_2 が分
 離抽出され、かくして2チャンネルの映像信号 V_1
 と V_2 が復元される。

〔実施例〕

以下、本発明の実施例を図面により説明する。

第1図は、2つのチャンネルの映像信号を1つ
 のチャンネルの映像信号に変換して伝送する、本
 発明の一実施例としての送信装置を示すブロック
 図であり、第2図は上記映像信号を水平走査線単
 位で表示した説明図である。

第1図において、1は第1のチャンネルの映像
 信号 V_1 が入力される端子、2は第2のチャンネル
 の映像信号 V_2 が入力される端子、3はこれら
 第1及び第2のチャンネルの映像信号 V_1 と V_2
 が1つのチャンネルに合成されて出力される端子

である。また、10は位相反転回路、11は切換
 回路、12は合成回路である。

第1チャンネルの映像信号 V_1 と第2チャンネル
 の映像信号 V_2 は、互いに同相した位相関係で
 それぞれ端子1と2に供給される。一例として、
 第2図に示すように映像信号の水平走査線単位で
 ライン1、2、3、4、5、6の順で上記第1チャ
 ンネルの映像信号 V_1 が端子1に入力されるのに
 対して、それと同相してライン1、2、3、4、5、
 6の同じ順序で上記第2チャンネルの映像信号 V_2
 が端子2に入力される。端子1からの映像信号 V_1
 は切換回路11の一方の端子A側に供給されると
 共に、位相反転回路10にも供給され、そして、
 この位相反転回路10にて位相反転された出力が、
 切換回路11の他方の端子B側に供給される。

この切換回路11にて、入力映像信号 V_1 (あ
 るいは V_2) の水平走査線単位で端子A側とB側
 とが交互に切換えられ、その出力は合成回路12
 に供給され、そして、端子3から供給された上記
 第1チャンネルの映像信号 V_1 と上記切換回路11

からの出力映像信号とがこの合成回路12にて
 加算されて合成される。ここで、合成回路12は、
 少なくとも映像表示期間(つまり、同期信号部分
 を含まない期間)では単なる加算器であると考え
 て良い。

従って、この合成回路12からは、第2図に示
 すように、ライン1、2の期間では、第1チャネル
 の映像信号 V_1 と第2チャンネルの映像信号 V_2
 の和成分 $(V_1 + V_2)$ が出力され、次のライン
 3、4の期間では、第1チャンネルの映像信号 V_1
 と第2チャンネルの映像信号 V_2 との差成分 $(V_1 - V_2)$
 が出力される。一般には、20番目のラ
 インでは、第1チャンネルの映像信号 V_1 と第2
 チャンネルの映像信号 V_2 との和成分 $(V_1 + V_2)$ が
 出力され、次の $(20+1)$ 番目のラインでは、
 第1チャンネルの映像信号 V_1 と第2チャンネル
 の映像信号 V_2 との差成分 $(V_1 - V_2)$ が出
 力される。即ち、以上の様な合成回路12におけ
 る加算演算によって、第1チャンネルの映像信号
 V_1 と第2チャンネルの映像信号 V_2 とが和また

は差に相当する位相関係で同位相多量されるわけ
 である。

以上により、第1及び第2の2つのチャンネル
 の映像信号は、1つのチャンネルの映像信号 V_1
 に変換されて、端子3より出力される。

出力映像信号 V_1 は、以上の説明から明らか
 ように、入力映像信号 V_1 と V_2 との和成分また
 は差成分であるので、この出力映像信号 V_1 の占
 有帯域は入力映像信号 V_1 、あるいは V_2 のいづれ
 か帯域の広い方で決まり、上記第1及び第2チャ
 ンネルの映像信号の占有帯域が同じでその値を BW
 とすれば、上記出力映像信号 V_1 の占有帯域も同
 じ BW となる。これを換算すれば、2チャネル
 分の映像信号を伝送するのに必要な帯域 $(2 \times BW)$
 に所し、本実施例によれば、その半分の帯域 (BW)
 で2チャンネル分の映像信号を伝送できることにな
 る。

なお、上記20番目のライン(第2図の右端で
 示すライン10)と上記 $(20+1)$ 番目のライ
 ン(第2図の左端で示すライン11)との位相

93国特63-180280(5)

面は、フィールド内の時間的に隣接するライン同士をさす場合の他、引込位置のライン L_{10} を第1フィールド(あるいは第1フレーム)内のラインとし、隣接のライン L_{10+1} をこの第1フィールド(あるいは第1フレーム)に続く次の第2フィールド(あるいは第2フレーム)内のラインとするような、フィールド間あるいはフレーム間の空間的に隣接するライン同士をさす場合であってもよく、いずれの場合も本発明の趣意に合致される。

次に、上記の如くして1つのチャンネルに合成された映像信号 V 、より元の映像信号 V_1 と V_2 を分離抽出するための本発明に係わる信号処理装置の一具体例を第3図に示す。

同図において、上記第1図の高域側に示す低域位置により出力されて所定伝送帯域を伝送され、あるいは変調VTRやVDPのように適宜信号処理されて記録・再生されて得られる上記映像信号 V は、入力端子1に供給される。ここで、50は加算器、50は減算器であり、また、40は、端子

4からの入力映像信号を、上記のフィールド内あるいはフィールド間あるいはフレーム間で時間的あるいは空間的に隣接する2つのライン L_{10} と L_{10+1} との位置差に相当する時間 T (第2図の T)だけ遅延する遅延回路である。

上記加算器50にて、入力端子4からの入力映像信号 V と、それを遅延回路40にて時間 T だけ遅延して出力される映像信号 V_1' とが加算される。従って、一般にライン番号2 n の期間では、端子4からのライン番号2 n の映像信号 $(V_1 + V_2)_{2n}$ と、それより1つ前のライン番号(2 $n-1$)の映像信号 $(V_1 - V_2)_{2n-1}$ とが、この加算器50で加算されて、次式で表現される映像信号 $(V_1')_{2n}$ がこの加算器50より出力される。

$$(V_1')_{2n} = (V_1 + V_2)_{2n} + (V_1 - V_2)_{2n-1}$$

同様に、次のライン番号(2 $n+1$)の期間では、次式で表現される映像信号 $(V_1')_{2n+1}$ がこの加算器50より出力される。

$$(V_1')_{2n+1} = (V_1 - V_2)_{2n+1} + (V_1 + V_2)_{2n}$$

次に、上記減算器50にて、端子4からの入力映像信号 V と、それを遅延回路40にて時間 T だけ遅延して出力される映像信号 V_1' とが減算される。従って一般に、ライン番号2 n の期間では、端子4からのライン番号2 n の映像信号 $(V_1 + V_2)_{2n}$ と、それより1つ前のライン番号(2 $n-1$)の映像信号 $(V_1 - V_2)_{2n-1}$ とが、この減算器50で減算されて、次式で表現される映像信号 $(V_2')_{2n}$ がこの減算器50より出力される。

$$(V_2')_{2n} = (V_1 + V_2)_{2n} - (V_1 - V_2)_{2n-1}$$

同様に、次のライン番号(2 $n+1$)の期間では、次式で表現される映像信号 $(V_2')_{2n+1}$ がこの減算器50より出力される。

$$(V_2')_{2n+1} = (V_1 - V_2)_{2n+1} - (V_1 + V_2)_{2n}$$

一般に映像信号は、フィールド内あるいはフィールド間あるいはフレーム間で時間的あるいは空間的に隣接する2つのライン間(L_{10} と L_{10+1} の間、あるいは L_{10+1} と L_{11} の間)では、短い時間を要するため、ライン間で逆相の関係にある成分、即ち上記四式及び四式の V_1 の成分、及び上記四式及び四式の V_2 の成分は、互いに打ち消し合っ

てほぼ零とみなすことができる。従って、上記四式及び四式から明らかなように、上記加算器50からは、第2チャンネルの映像信号 V_2 の成分は発生され、第1チャンネルの映像信号 V_1 の成分のみが分離抽出され端子5より出力される。同様に、上記四式及び四式から明らかなように、上記減算器50からは第1チャンネルの映像信号 V_1 の成分は発生され、第2チャンネルの映像信号 V_2 の成分のみが出力される。

この第3図の逆変換装置では、上記四式及び四式から明らかなように、加算器50から分離出力される映像信号 V_1 は、ライン番号2 n と次のライン番号(2 $n+1$)とで、共に同相となる。これに対し、上記四式及び四式から明らかなように、減算器50から分離出力される映像信号 V_2

特開2003-180200 (6)

は、ライン番号 $2n$ と次のライン番号 $(2n+1)$ とで、互いに逆相となる。

そこで、上記実施例図60からの出力映像信号は、切替回路80の端子A側に供給されると共に、位相反転回路70に供給され、そして、この位相反転回路70にて位相反転された出力は、切替回路80の他方の端子B側に供給される。この切替回路80は、同期信号毎に端子A側とB側に交互に切換えられる。即ち、具体的には、上記ライン番号 $2n$ の期間では、端子A側に接続され、次のライン番号 $(2n+1)$ の期間では、端子B側に接続され、以上の切換が上記同期信号毎に交互に行われる。その結果、上記切替回路80からは、ライン番号 $2n$ と次のライン番号 $(2n+1)$ とで共に同相となる映像信号が出力され、端子1より出力される。

かくして、2チャンネルの映像信号が1つのチャンネルに合成された入力映像信号 V_1 より、第1チャンネルの映像信号 V_1' と第2チャンネルの映像信号 V_2' とが分離され、かつ元の位相関係も

元の色度信号には第1チャンネル映像信号の色度信号を同数度多量するようにしたものである。この方法により、互いに相関のない色度信号と色度信号が時間的に重ならないようにでき、従って相互の妨害をなくすることができる。

では、第4図及び第5図を用いて、本実施例を更に詳しく説明する。

本実施例は、先の第1図の実施例における入力端子1と2に時分割信号処理回路100を接続して構成される。尚、第4図において、第1図と同じ図番ブロックには同じ符号を付してあり、その動作は第1図とまったく同じであるので、説明は省略する。

第4図において、端子1'には第1チャンネルの映像信号 V_1 が、端子2'には第2チャンネルの映像信号 V_2 がそれぞれ入力される。

時分割信号処理回路100において、端子1'からの第1チャンネル映像信号 V_1 は、その水平走査単位で第5図のa〜cに示すように、輝度信号 Y_1 と2つの色度信号 C_{11} と C_{12} とに分割さ

正しく復元されて、それぞれ端子3と4より出力される。

ところで、第1図に示した実施例では上記したように、互いの異なる位相を利用して2つのチャンネルの映像信号を多重するものであり、異なる位相の信号を多重すると相互に妨害を及ぼす問題を生ずる。そこで、次の実施例では、こうした問題を発生しないようにするために、多重すべき信号に制位を与えるものである。

第4図は本発明の他の実施例を示すブロック図、第5図は第4図における各信号のタイミングチャートである。

一般に映像信号の伝送には、明暗を意味する輝度信号と、色彩を意味する色度信号が必要であり、映像信号と色度信号の間には相関はない。そこで、本実施例では、2つのチャンネルの映像信号を多重するに際し、各映像信号を輝度信号と色度信号とに分けて時分割で多重し、第1チャンネル映像信号の輝度信号には第1チャンネル映像信号の輝度信号を同数度多量し、第1チャンネル映像信号

の、その後、各々時間抽選されて時分割で多重されて、第5図のeに示す様な映像信号 V_1' として端子1より出力され、上記合流回路30に供給される。

同様に、端子2'からの第2チャンネル映像信号 V_2 は、その水平走査単位で第5図のd〜fに示すように、輝度信号 Y_2 と2つの色度信号 C_{21} と C_{22} とに分割され、その後、各々時間抽選されて時分割で多重されて、第5図のgに示す様な映像信号 V_2' として端子2より出力され、上記切替回路80と位相反転回路70とに供給される。

上記映像信号 V_1' と V_2' は、それぞれの輝度信号 $(Y_1'$ と $Y_2')$ と2つの色度信号 $(C_{11}$ と C_{12} 、及び C_{21} と $C_{22})$ が同じタイミング関係で出力される。上記図番10、20、30にて、上記第4図で述べたと同じ信号処理が行われ、1つのチャンネルの映像信号 V_1' として端子3より出力される。

従って、第5図のiに示すように、一般にライン番号 $2n$ の期間では、第1チャンネルの映像信号

特開昭63-180280(7)

号 V_1 と第2チャンネルの映像信号 V_2 との輝度信号両士の和成分 $(Y_1 + Y_2)$ 、及び色度信号両士の和成分 $(C_{01} + C_{02})$ と $(C_{01} - C_{02})$ とが時分割多重された形で映像信号 $(V_1 + V_2)$ として端子3より出力される。同時に、次のライン番号 $(4n+1)$ の期間では、第1図の1に示すように、第1チャンネルの映像信号 V_1 と第2チャンネルの映像信号 V_2 との輝度信号両士の差成分 $(Y_1 - Y_2)$ 、及び色度信号両士の差成分 $(C_{01} - C_{02})$ と $(C_{02} - C_{01})$ とが時分割多重された形で映像信号 $(V_1 - V_2)$ として端子3より出力される。

次に、以上の様にして1つのチャンネルに合成された映像信号 V_1 より、上記第1及び第2チャンネルの映像信号 V_1 と V_2 を分離するためには、前述の第2図に示した信号逆変換回路が同様に適用される。この第2図の信号逆変換回路を適用した場合、端子3及び5より出力される映像信号 V_1 、及び V_2 は、第3図のa及びbに示す波形とほぼ同様の、輝度信号と色度信号が時分割多重された

形態の信号となる。

従って、これより元の映像信号 S_1 と S_2 を復元するための信号処理回路が、図示しないが、上記第3図の出力端子5、6に更に接続される。即ち、この信号処理回路において、上記映像信号 V_1 と V_2 のそれぞれより、時分割多重された輝度信号と色度信号がそれぞれ分離され、かつ元の正味の時間軸を有するようにそれぞれ適宜時間軸処理されて、その結果、元の映像信号 S_1 と S_2 に相当する信号がそれぞれ出力される。

尚、ここで、元の映像信号 S_1 と S_2 と全く同様の信号が得られるのではなく、それらに準じた信号が得られるのは、この信号処理回路に入力される映像信号 V_1 と V_2 が第3図a及びbに示した映像信号 V_1 、 V_2 と真金には一致していないからである。

次に、伝送すべき映像信号が、映像 S_1 を一次的に表示させるための立体映像信号である場合と、映像の輪郭を表示させるための高周波映像信号である場合とについてそれぞれ説明する。

先ずは、立体映像信号についてである。立体映像信号として、一般には、右目用と左目用の互いに視差の異なる2つの映像信号が必要である。従って、この立体映像信号を本発明を用いて伝送する場合は、互いに視差の異なる映像信号に図3(第1及び第2の立体映像信号をそれぞれ上記第1及び第2のチャンネルの映像信号として、上記第1図あるいは上記第4図の伝送回路の入力端子に供給するようにすれば良い。上記2つの立体映像信号は、その性質から、一般に、信号側に強い特徴があるため、チャンネル間の信号漏れの影響は大幅に軽減され、効果よく伝送することが出来る。

次は、高周波映像信号についてである。高周波映像信号として、一般には立体的な映像信号が必要である。従って、この高周波映像信号も本発明を用いて伝送する場合は、第5図に示す様な伝送回路を用いれば良い。

第5図は本発明の別の実施例を示すブロック図、第7図は第5図における各信号のタイミングチャートである。

第5図において、200は時間軸変換回路であり、他のブロックは上記第1図と同じであり、同一符号を付してある。

端子3'に入力される高周波映像信号 S_1 は、時間軸変換回路200にて、水平走査線単位で適宜時間軸伸張され、例えば2倍に伸張されて、1倍の遅延 T ($T = 2H/H$ は1水平走査線間)で、第7図のaに示すように一対のライン番号40では、輝度信号 Y_1 と色度信号 C_1 とが時分割多重されて、映像信号 V_1 として端子3より出力され、次のライン番号 $(4n+1)$ では第7図のbに示すように、輝度信号 Y_2 と色度信号 C_2 とが時分割多重されて、信号 V_2 として端子3より出力される。上記映像信号 V_1 と V_2 は、それぞれの輝度信号 $(Y_1$ と $Y_2)$ と色度信号 $(C_1$ と $C_2)$ が同位タイミグで出力される。その結果、端子3からは、第7図のcに示すように上記ライン40番目の映像信号 V_1 とライン $(4n+1)$ 番目の映像信号 V_2 との輝度信号両士の和成分 $(Y_1 + Y_2)$ と、

特開昭63-180280(8)

$Y_1 + Y_2$ ）、及び色度信号同士の和成分（ $C_1 + C_2$ ）とが時分割多重された形態でライン番号 20 の映像信号（ $V_1 + V_2$ ）として出力される。同様に、次のライン番号（ $10 + 2$ ）では、第 7 図の 4 に示すように色度信号 Y_1 と色度信号 C_1 とが時分割多重で映像信号 V_1 として端子 1 より出力され、次のライン番号（ $10 + 3$ ）では、第 7 図の 5 に示すように色度信号 Y_1 と色度信号 C_1 とが時分割多重で映像信号 V_1 として端子 1 より出力される。従って、端子 1 から、第 7 図の 1 に示すように上記ライン（ $10 + 2$ ）番目の映像信号 V_1 とライン（ $10 + 3$ ）番目の映像信号 V_2 との色度信号同士の和成分（ $Y_1 - Y_2$ ）、及び色度信号同士の差成分（ $C_1 - C_2$ ）とが時分割多重された形態でライン番号（ $20 + 1$ ）の映像信号（ $V_1 - V_2$ ）として出力される。

次に、以上の順にして、1 つのチャンネルに合成された映像信号 V_1 より、映像信号 V_2 と V_1 を分離するためには、前述の第 3 図に示した信号処理回路が適用される。即ち、映像信号 V_1 は、

上記第 3 図の信号処理回路の入力端子 4 に供給され、端子 5 及び 6 からは上記第 7 図の 6 及び 7（あるいは 4 及び 5）に示す波形とは異なる波形の、色度信号と映像信号が時分割多重されたライン番号 20 の映像信号 V_1 と V_2 が出力される。

従って、これより元の映像信号 V_1 を復元するための時間遅延回路が、図示しないが、上記第 3 図の信号処理回路の出力端子 5、6 に更に接続される。即ち、この時間遅延回路において、上記映像信号 V_1 と V_2 のそれぞれより時分割多重された色度信号と色度信号がそれぞれ分離され、かつ元の正確の時間軸を有するようにそれぞれ遅延時間補正されて、その結果、元の映像信号映像信号 V_1 と V_2 が出力される。

以上第 8 図の実例によれば、広帯域を必要とする高域映像信号 V_2 を、時間軸ずれによって、例えば 1 倍の時間遅延により 1/1 の占有帯域かつ 1 チャンネルで伝送できる効果が得られる。

次に、上記高域映像信号に適用する本発明の更に別の実施例を第 9 図に示す。同図において、

200 は信号処理回路であり、他のブロックは上記第 1 図と同じであり、同一符号を付してある。また第 9 図は、第 8 図における各信号のタイミングチャートである。

端子 8 に入力される高域映像信号 V_2 は、信号処理回路 200 において、水平走査線単位で、色度信号 Y と色度信号 C とに分離されて時分割で多重され、かつその時分割多重された信号は第 9 図の 9 とに示す様に色度信号成分と高域信号成分との 2 つに分割される。

一方の色度信号成分は、第 9 図の 10 に示すように低域映像信号 V_1 として端子 1 より出力される。この低域映像信号 V_1 は、上記より明らかに、色度信号 C の低域成分 C_1 と映像信号 V_1 の低域成分 Y_1 とが時分割多重された形態を有する。

上記他方の高域信号成分は、上記低域映像信号 V_1 と占有帯域がほぼ等しくなるように、あるいは占有帯域が上記低域映像信号 V_1 のそれより小さくなるように、周波数変換回路 201 によって周波数変換され、第 9 図の 11 に示すように高域映像信号

V_2 として端子 2 より出力される。この高域映像信号 V_2 は、上記より明らかに、色度信号 C の高域成分 C_2 と映像信号 V_2 の高域成分 Y_2 とが時分割多重されて周波数変換された形態を有する。

上記低域映像信号 V_1 と高域映像信号 V_2 は、それぞれの原信号（ Y_1 と Y_2 ）と色度信号（ C_1 と C_2 ）が、同じタイミングで出力される。以上より端子 3 からは、第 9 図の 12 に示すように、一般にライン番号 20 の範囲では、上記低域映像信号 V_1 と高域映像信号 V_2 との色度信号同士の和成分（ $Y_1 + Y_2$ ）、及び色度信号同士の和成分（ $C_1 + C_2$ ）とが時分割多重された形態で映像信号（ $V_1 + V_2$ ）として出力される。同様に、次のライン番号（ $10 + 1$ ）の範囲では、第 9 図の 13 に示すように、上記低域映像信号 V_1 と高域映像信号 V_2 との色度信号同士の和成分（ $Y_1 - Y_2$ ）、及び色度信号同士の差成分（ $C_1 - C_2$ ）とが時分割多重された形態で映像信号（ $V_1 - V_2$ ）として端子 3 より出力される。

特開昭63-180260(9)

次に、以上の様に、1つのチャンネルに合成された映像信号 V 、より映像信号 V 、と V 、を分離するためには、前述の第3図に示した信号処理回路が適用される。即ち、映像信号 V は、上記第3図の信号処理回路の入力端子4に供給され、端子5及び6からは、上記第3図の、及びに示す映像とほぼ同様の映像の、映像信号と色度信号が時分割多重された映像信号 V' と V' がそれぞれ出力される。

従って、これより元の映像信号 V を復元するための信号処理回路500が上記第3図の信号処理回路の出力端子5、6に更に接続される。この信号処理回路500の一具体例を第10図に示す。同図において、端子6'に入力される上記第3図の端子6からの高域映像信号 V' は、同図の映像回路510にて元の占有帯域を有するように周波数変換される。そして、信号処理回路520にて、上記周波数変換回路510からの出力と、端子5'に入力される上記第3図の端子5からの低域映像信号 V' とが合成され、その合成

結果より上記の時分割多重された映像信号 V と色度信号 C がそれぞれ分離され、そして、元の正逆の時間軸を有するようにそれぞれ時間軸反転されて、元の高域映像信号 V 、に準ずる映像信号 V 、が端子7より出力される。

なお、上記第8図あるいは第9図における入力映像信号 V 、及び上記第10図における出力映像信号 V 、の信号形態として、上記映像信号 V と色度信号 C が同位相多重された、いわゆるコンポジット信号の形態でも良いが、それ以外に上記映像信号 V と色度信号 C をそれぞれ個別に入出力させる形態でも良く、あるいは、 V 、 C のいわゆる三原色映像信号をそれぞれ個別に入出力させるような形態でも良く、いずれも本発明の趣意に合致するものである。

また、上記第8図、第9図、第10図では、色度信号として上記 C を用いて説明しているが、上記第4図の実施例で示したように、一般には色度信号として1つの色度信号(C_u と C_v)が必要であり、上記映像信号 C はこの2つの色度信号を

含むものである。

また、本発明は、この1つの色度信号を送信する方法として、上記第4図で述べたような水平走査単位で常に2つの色度信号を送信する、いわゆる同時式の場合に適用できるが、本発明はこれに限定されるものではなく、上記2つの色度信号を水平走査単位で交互に伝送する、いわゆる時間分割式の場合にも適用できるものである。

特にこの時間分割式で伝送する場合においては、上記第6図及び第7図の実施例における2つのチャンネル間の色度信号の和($C_1 + C_2$)、あるいは $C_1 + C_2$ 、及び差($C_1 - C_2$)、あるいは $C_1 - C_2$ の値はいずれも上記1つの色度信号(C_1 と C_2)のいずれか一方周士の値、即ち、 C_1 、 C_2 の周士の和・差演算あるいは C_1 、 C_2 の周士の和・差演算で行われる。一般には、上記1つの色度信号(C_1 と C_2)の間には相関はないが、同じ色度信号同士(C_1 、 C_2 あるいは C_1 、 C_2)には強い相関があるため、上記の本発明の方法によれば、時間分割式の場合においても2つのチャンネルに

おける色度信号相互の相関を大幅に改善できることが容易に理解されるであろう。

次に、上記第8図及び第9図における周波数変換回路510及び520における周波数変換は、これらに入力される映像信号と周波数変換回路510に有する周波数変換回路510からの周波数信号との差を行ない、両者の周波数成分を抽出することにより達成される。

ここで、上記第8図及び第9図の周波数変換は、この映像信号の位相が周波数変換回路(ライン番号 $2n$ と $2n+1$ の間)で同位相となるように設定した場合を示したものである。従って、この周波数信号の位相が周波数変換回路で逆位相となるように設定した場合は、上記第8図の周波数変換回路510と周波数変換回路520は不要となり、上記周波数変換回路510の出力を直接、上記映像回路530に供給すれば良く、また上記第9図の周波数変換回路520と周波数変換回路530は不要となり、上記周波数変換回路510からの出力を直接、上記第10図の周波数変換回路530に供給すれば良く、この場合においても同

れる効果は同じで、本発明の主旨にそうものである。

また、上記第5図、第7図、第9図に示す例は、同期信号を示し、この同期信号に対して上記映像信号と同期の加・減算を施しても良いが、それを施さなくても良く、本発明の主旨をそれるものではない。即ち、同期信号に対して上記加・減算を施せば、和の得られた(番号 $2n$ の)ラインと、差の得られた(番号 $2n+1$ の)ラインとで波形の異なる同期信号が得られるため(例えば、和減算では、3倍の振幅を有する同期信号が得られ、差減算では、振幅0の同期信号が得られる。)、その波形の違いを抽出することにより和の得られたラインであるか、差の得られたラインであるかを検知できる副次的効果が得られる。また逆に、同期信号に対して上記加・減算を施さなければ、各ラインで一律の波形を有する同期信号を得ることができ、全てのラインで同期信号を安定に抽出できる副次的効果が得られる。

(効果の総括)

具体例を示したブロック図、第4図は本発明の他の実施例を示すブロック図、第5図は第4図における各部信号のタイミングチャート、第6図は本発明の別の実施例を示すブロック図、第7図は第6図における各部信号のタイミングチャート、第8図は本発明の更に別の実施例を示すブロック図、第9図は第8図における各部信号のタイミングチャート、第10図は第3図の信号逆変換回路に接続される信号逆変換回路の具体例を示すブロック図、である。

符号の説明

10、70—位相検出回路、20、80—切換回路、30—合流回路、40—遅延回路、50—加算器、60—減算器、100—時刻制御信号処理回路、200—時間軸変換回路、300—信号変換回路、500—信号逆変換回路

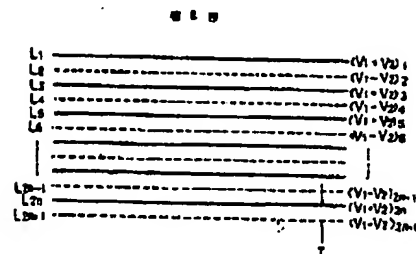
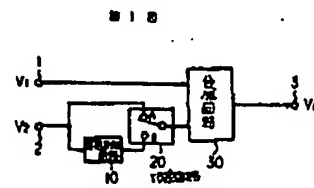
代理人 弁護士 並 本 岡 大

特開昭63-180280(10)

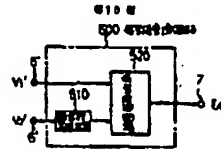
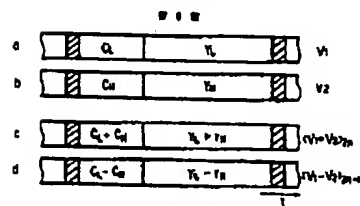
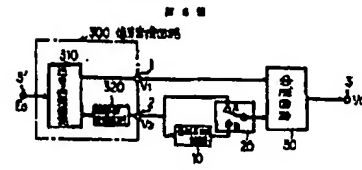
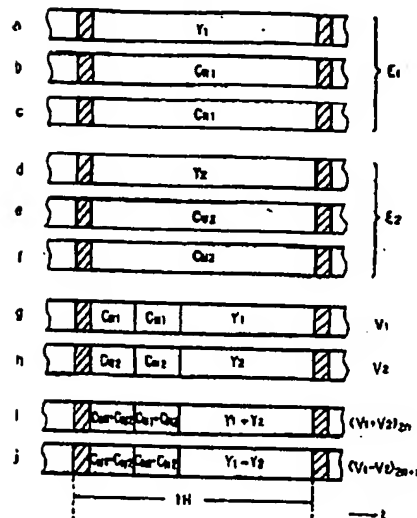
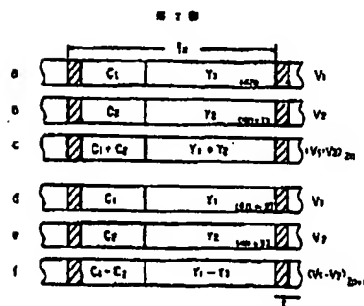
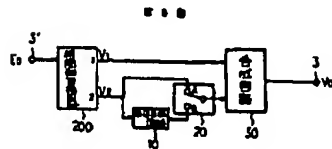
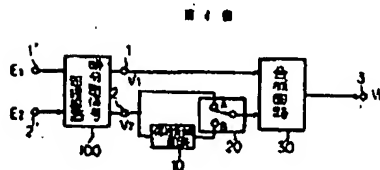
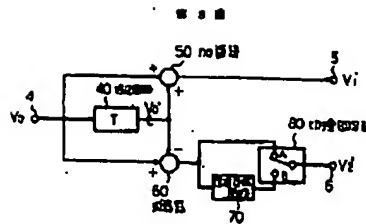
以上述べたように、本発明によれば、複数のチャンネルあるいは広帯域の映像信号を隔られた伝送路でチャンネル間の信号漏洩の影響を大幅に低減して、暗黒度く伝送あるいは記録・再生することができる。従って、従来の伝送路を用いて、広帯域あるいは複数チャンネルを必要とする高解像度テレビあるいは立体テレビ等の新しいテレビ方式のサービスを行うことができ、またこれらの新しいテレビ方式に対応するVTRやVDPのような映像信号記録再生装置においては、実質的に高画質記録を実現することができ(即ち、従来の1チャンネル分の映像信号を記録するための記録容量と同じ容量で、複数チャンネルあるいは広帯域の映像信号の情報を記録できるからである。)、映像再生時間の長時間化を容易に達成できる効果が得られる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一次地例を示すブロック図、第2図は映像信号を水平走査線単位で示した例、第3図は本発明に係る信号逆変換装置の一



特開昭63-180280 (11)



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.